



Title	前論文186及ビ203ヘノ注意
Author(s)	南雲, 道夫
Citation	全国紙上数学談話会. 1935, 59, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74129
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

207. 前論文186及び203への注意

南 雲 道 夫 (阪大)

甚だ些細な事ナガラ前ニ出シタコトニツイテツマラナイ
注意ヲ附ケ足サレテ載キマス。

53号・186 “凸凹ナ床ニ机ヲ据エル問題”ニ於テハ
机ノ足先ガ一点カラ成ルモノト考ヘマシタ。實際ハソナ机
ハアリマセン。机ノ足先ガ太サヲ看スルトキガ問題デス。然
シ此ノ場合ノ解答ハ私ニハ出来マセンガ、足先ガ丁度球面ノ
時ニハ (ソノ半径ハ四ツトモ等シイ) 同様ナ結果ヲ得マス。
証明ハ足先ノ四点ノ代リニ球ノ中心ヲ考ヘレバ、ソックリソ
ノマニ成立シマス (足ト床トノ切点デハウマク行キマセン)。

58号・203 “連続ナ環ニ於ケル群 $G_s \cdot G_t = G_{s+t}$
ニツイテ”ニ於テ *Ring* $\mathcal{R}$ ガ単位 1 ヲ含マヌトキニハ之
ヲ付ケ加ヘルコトが出来ルコトヲ示シ、 $G(t)$ ノ代リニ之ヲ
 $t=0$ ノ時単位ニナル様ナ $H(t)$ ガオキカヘマシタ。

然シ $G(0)=A$ トスル時、 $A^2=A$ ナルコトカラ、
 $A \mathcal{R} A = \mathcal{R}_A$ ハ $\mathcal{R}$ ノ部分環トナリ、 A ハ $\mathcal{R}_A$ ニ於ケル単位
トナリマス。又 $G(t) \in \mathcal{R}_A$ ナルコトガ容易ニ解リマスカラ、
スベテ $\mathcal{R}_A$ 内デ考ヘレバ $G(t)$ ヲソノマニデ之ヲ変形スル必
要ハアリマセン。

昭和十年度1月—6月分ノ會費金貳円未
納ノ方が大分アリマス。

一度決算ヲシタイト思ヒマスカラ至急御納
メ願ヒマス。

尚途中入會ノ方ハ何レ近日中ニ會費請求
致シマス。